

就職をお考えの看護職の皆さまへ

就職先をお探しの方、職場を変えたいとお考えの方はたくさんいらっしゃると思いますが、いざ就職となるといろいろな不安があるのではないのでしょうか。病院が変わると使用する物品が違ったり、管理の方法が違ったり、戸惑うことも多くなりますし、結婚や出産、ご家庭の都合で離職をされていた方は、もう一度働いてみたいけど臨床についていけるかどうかと不安をお持ちのことと思います。

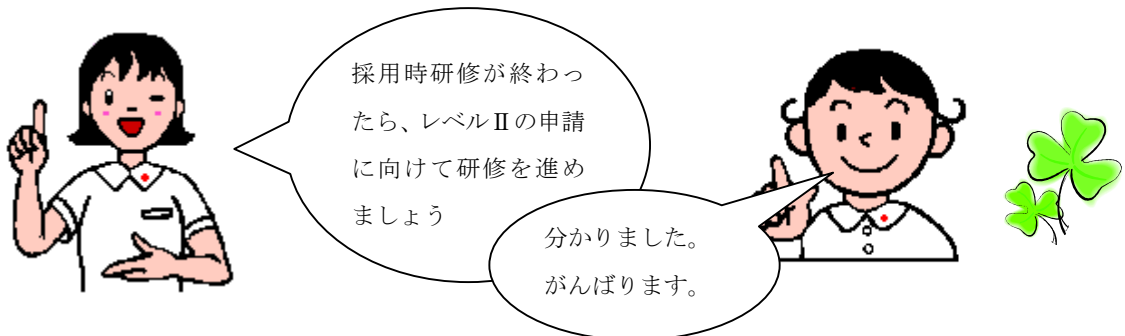
当院では、このような不安を取り除き、スムーズに職場に適應できるように以下のような研修を行っています。

ステップ1

◇皆さんの技術のレベルを把握するための研修

採用されてから1週間程度、病棟係長がともに看護ケアに入り、細やかに看護知識と看護技術の確認を行います。

経験したことがある技術、以前経験をしていても記憶のはっきりしない知識や技術を再確認します。今後の集合研修への参加の基礎となると同時に、病棟での業務の流れを経験することができます。



採用された方の状況に合わせて、研修の継続や赤十字ラダー教育のレベル決定を行います。

ステップ2

◇中途採用された方の多くが不安に感じている内容の研修

当院に中途採用された看護師の方々から、採用時に不安に思ったことや行ってほしいと希望のあった内容を中心に研修を組んでいます。

同じ時期に採用された方と共に採用後1週間、16:00～17:00の時間に研修を行います。

1日目

電子カルテの操作



当院は電子カルテを採用していますので、**医師のオーダーと指示、検査の予約・結果、看護師による看護計画・日々の記録・退院サマリー・会計の入力**まで、すべてパソコンによる操作が必要です。

就職されている多くの看護師が、電子カルテに対する不安や戸惑いを感じています。しかし実際に操作してみると、ほとんどの不安が解消され、スムーズに操作ができるようになります。これを機会にと自宅にパソコンを購入し、インターネットなどを始めた方もいます。

覚えれば簡単！

<p>2日目</p> <p>外来の流れ</p>  <p>入院の流れ</p> <p>感染管理について 安全管理について</p>	<p>外来患者さんが病院に来てから自宅に帰られるまでの流れをみます。</p> <p>白衣を着ていると患者さまからいろいろな質問を受けることがありますのでそれに対応できるように学びます。また、困っている患者さまに声を積極的に掛けられるようになるだけでも、漠然とした分からない不安から解消されるはずです。</p> <p>入院患者さんが病院に来られてから、入院するまでの流れ、そして退院の手続きについての流れをみます。</p> <p>予約入院の患者さまは、どのような手続きを踏み、病棟まで来られるのか、検査はどのように受けられるのか、そして退院はどのように手続きがされているのかなどを一緒に廻ります。ここまで分かると、病院の流れの大枠が見えてきます。外来患者さまや他職種の方とも顔を合わせると当院の病院の雰囲気を感じていただけるでしょう。</p> <p>現在のケアの基礎となるスタンダードプリコーションについて学びます。 患者情報の正しい取り扱いや院内で起こりやすいインシデント・アクシデントについて学び、その予防に役立てます。</p>
<p>3日目</p> <p>内服薬の取り扱い</p>	<p>内服薬のオーダーが出てから、病棟に届き、患者さまに投与、そして管理。これらの一連を説明します。</p> <p>患者さまに投与される薬は、治療としても重要なものです。当院で処方された薬と患者さまが持ってこられた持参薬それぞれにきちんと投与管理される必要があります。</p>
<p>4日目</p> <p>注射薬の取り扱い</p> 	<p>注射薬のオーダーが出てから、注射薬が病棟に届き、患者さまに投与するまでを電子カルテの認証システムを使用し、実施します。</p> <p>注射薬は患者さまの身体に直接入る薬であり、影響も大きいものです。間違いなく投与されるために、患者さまのネームバンドと電子カルテの認証システムを使用し、実施しています。</p>
<p>5日目</p> <p>医療機器の取り扱い</p>	<p>ここでは病棟でよく使用する輸液ポンプ、シリンジポンプ、心電図モニタについて実際に触ってみます。</p> <p>病院が変わると取り扱う製品が違い、少しずつ使用方法に違いがあります。実際に触ることで不安が解消できるでしょう。</p>

*これらの他に、一日目には、看護部によるオリエンテーション、総務課からのオリエンテーションなどがあります。

ステップ3

◇あらゆる教育課程の方に対応した研修

*看護過程の展開

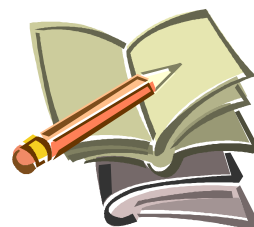
*看護診断

など、患者さまの病態をアセスメントし、問題点を抽出し、必要な看護計画を立案し、計画や目標に沿って看護を展開、記録していく一連の過程に対して、不安がある方へ研修を行います。

*クリニカルパス

パスの考え方、適応し、実施評価の一連について研修を行います。

これらの他にも、皆様の希望に応じ、研修を行います。



ステップ4

◇中途採用された方への心理支援

当院では、看護係長がグループとなり、病棟での仕事に何か問題が発生していないか、不安に感じていないかなど、病棟をラウンドし、面談の機会を持つようにしています。勤務における様々な不安や疑問などを解決に導いてくれるでしょう。

また、中途採用された方が集まり、お互いの思いを語り合える場として年2回の交流会を開催しています。



中途採用者「茶話会」の様子

中途採用者支援担当者より、支援プログラムの一つである「茶話会」についてご紹介します。この会は、中途採用者の方々がお茶を飲みながら気さくに語り合うことで、様々な悩みや不安が緩和され参加者自身が課題に気付く機会となることを目的に企画しています。多くの方が事前に当院のホームページ等から教育支援体制を知り看護師としてキャリアアップできるという期待を持って就職を希望されたこと、就職後に最も心に残っているのは職場の人の明るさやあいさつをし合うこと、よく声をかけ教えてくれることだとお話されていたのが印象的でした。これからも、様々なキャリアを持った方々がより活躍できる職場環境作りについて職員同士で協力してすすめていきたいと思えます。

看護部 中途採用者支援担当 看護係長 友岡道子・長井かおり



《途中入社で就職し働いている看護師の声》

看護師の声：斎藤優子さん（嘱託看護職員） 外来勤務

大森赤十字病院と巡り合ったきっかけは、「ふれあい ナースバンク」に参加したことでした。正看護師の免許を取得してから実践経験年数が少ないことが私のコンプレックスになっていましたが、穏やかなで丁寧な説明があり、ここでなら働けるかもしれないと思い病院見学を決めました。病院見学では、正直建物の古さに驚きましたが、中途採用者の教育システムのあることや、同級生が中途採用で勤務していたことが分かり、相談できると思いつぐ面接を申し込みました。

実際に働き始め、配属された整形外科では分からないことが多く、落ち込むことが多くありました。しかし、一緒に働く外来スタッフだけでなく、係長さんや師長さんや先生方が相談にのってくださり、乗り越えることができました。日々勤務する中で、患者さんと顔なじみとなり継続して関わり、病状の改善を共に喜び、新しい知識や技術を学ぶことが楽しく感じられるようになりました。医師と看護師の役割が明確になっており、協力して患者さんの病状の改善に取り組んでいると思います。

そして、中途採用者が集まり懇談会をする場を企画して頂き、こんなに沢山中途採用の仲間がいるのだと、心細い気持ちが改善され安心することができました。同期のような仲間がいることは、本当に力強く思いました。このような、中途採用者の支援体制があり、アットホームな雰囲気があり、安心して働ける事が現在につながっているように感じます。



看護師の声：田村香織さん（正職員） ICU 勤務

新病院の移転に伴う ICU 病棟新設で、希望にて ICU 配属になりました。入職してしばらくは、慣れない環境やなかなか打ち解けられない私の性格で、緊張と不安でいっぱいでした。しかし、師長さんをはじめとする周りのスタッフはとても明るく親切で、笑顔と笑いにあふれ、忙しい中でも毎日とても楽しく働くことができます。病棟が新設ということで一からのスタート、物品の位置から管理の方法など、Dr.をはじめとする他スタッフからの意見を取り入れ、みんなで試行錯誤しながらより良い方法を考え患者ケアにあたっている毎日です。また ICU だけでなく、救急外来や心カテ室を担当することで技術や知識の向上となっています。



一緒に勉強をしながら働きませんか？

笑顔で活力ある看護師のみなさまからのご連絡をお待ちしています。

